


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)	鳥取私塾の会(東部地区)				
<b>団体の主な活動</b>	子どもの健全育成、会員の資質の向上				
<b>事業名</b>	教育ふれあいプラザ				
<b>事業目的</b>	教育・しつけ等に対する悩みを、教育実践者が側面からサポートすることで、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。				
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	市民活動拠点アクティブとっとり(さざんか会館2F)			
	<b>実施期間</b>	平成16年9月26日(日)午後1時~3時半			
	<b>具体的な内容</b>	教育実践者(2名)が参加者を交えて対話形式をしながら教育について語る。その後、教育実践者が個別に教育しつけに対する相談を行う。			
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	当事業に関心のある市民及び会員	<b>参加数</b>	28人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	公共機関や公民館にチラシやポスターを置き、マスコミでも事前告知をした。参加者からは「教育ふれあいプラザ」の継続を求める声があった。事業の様子は日本海ケーブルネットワークで放映された。(右:事業の様子)			
<b>事業実施による効果</b>	子育てに対するサポートができた。 保護者の子どもへの健全育成のアドバイスができた。				
<b>収支決算</b>					
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>			
<b>総事業費</b>	74,458	報償費、需用費(資材、広報、消耗品等) その他			
<b>助成額</b>	49,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2			


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		特定非営利活動法人心のケア・ネットワーク		
<b>団体の主な活動</b>		悩みの(窓口・電話)相談 講座・研修会・講演会の企画・運営 心理カウンセリング 企業のためのメンタルヘルス支援		
<b>事業名</b>		援助者としてのカウンセリング研修		
<b>事業目的</b>		広く一般の人々に対して、家庭、職場、学校、地域などあらゆる場所でのコミュニケーションをスムーズに行い、良好な人間関係を作るための支援。		
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	ホテルモーリス(会議室)		
	<b>実施期間</b>	平成16年7月18日、8月22日、9月26日、10月17日、11月14日、12月19日(全6回)		
	<b>具体的な内容</b>	プログラム 1. 人間関係を深める自己理解 2. 相手の気持ちを理解する上手な話の聞き方 3. 成育史のふりかえりと新しい人生観との出会い(自己成長) 4. 人生を有意義に過ごすための行動、交流、活動のための学習		
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	一般市民(ボランティア活動や医療、教育、社会福祉関係者。カウンセリングに興味がある人)	<b>参加数</b> 32人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	参加者の反響 ・ 仕事や将来、身の回りのことなど考え直し、自分自身を見直す良い機会となった ・ グループワークなどこれまで受講したことのない内容で楽しく学べた ・ 改めて相手を理解することが大切だと思った。認識を新たに、大変勉強になった。 ・ 固定観念にとらわれず、個人を尊重したい。 ・ 内容も充実しており身になった。また参加したい。 など		
	<b>事業実施による効果</b>	・ 良好なコミュニケーションがはかれる ・ 心のトラブルに陥るのを未然に防ぐ(心の健康の推進) ・ 個人の選択幅が広がり、様々な問題に対応する能力を育てる		
<b>収支決算</b>				
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>		
<b>総事業費</b>	267,300	報償費、需用費(資材、広報、消耗品等)、使用料及び賃借料、その他		
<b>助成額</b>	100,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2		


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		人文フォーラム		
<b>団体の主な活動</b>		思想、社会学、宗教学などの講習会		
<b>事業名</b>		人文フォーラム市民公開講座		
<b>事業目的</b>		会員各自の研究テーマを、より開かれた形で市民に発表し、様々な問題提起をする。		
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	第1回 鳥取市歴史博物館 第2回 県民ふれあい会館		
	<b>実施期間</b>	第1回 平成16年4月24日(土) 第2回 平成16年5月28日(金)		
	<b>具体的な内容</b>	市民公開講座「都市論/まち論」 都市問題やまちづくりの提言(入場無料)		
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	鳥取市民、人文フォーラム会員	<b>参加数</b> 第1回 46人 第2回 22人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	江戸時代の後期、ならびに戦後の鳥取市の都市開発の歴史をたどり、現在の都市としての鳥取市のあり様が報告された。広くエコロジーの立場から、町並み保存や、市民がまちづくりの主体となる市民自治についての意見が活発に交換された。		
<b>事業実施による効果</b>	地域における文化、批評活動の活性化と市民相互の文化的刺激を高める。			
<b>収支決算</b>				
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>		
<b>総事業費</b>	66,810	報償費、需用費(資材、広報、消耗品等)、役務費、使用料及び賃借料		
<b>助成額</b>	34,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2		


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		特定非営利活動法人ラーバンマネジメント			
<b>団体の主な活動</b>		まちづくりの推進を図る活動			
<b>事業名</b>		「ラーバンだより」発行事業			
<b>事業目的</b>		まちづくりに関する情報誌「ラーバンだより」の発行			
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	鳥取市 遷橋地区、日進地区、明德地区			
	<b>実施期間</b>	平成 16 年 6 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日(4 回発行)			
	<b>具体的な内容</b>	「ラーバンだより」を 7 月、9 月、12 月、3 月に発行。 発行部数 14,200 部			
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	遷橋地区、日進地区、明德地区 の住民	<b>参加数</b>	3610 世帯
	<b>その他特筆すべき事項</b>	各地区で抱えている問題はたくさんあるが、明德地区で実現できたまちづくりへの座談会形式は継続維持がやり易く、今後の活動の方針になると考える。			
<b>事業実施による効果</b>	住民参画によるまちづくりが、身近な共通の話題を紙面で取り上げたことで住民の関心と意識が広まった。				
<b>収支決算</b>					
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>			
<b>総事業費</b>	145,894	報償費、需用費(資材、広報、消耗品等)、使用料及び賃借料、その他			
<b>助成額</b>	97,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2			


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		劇団アルティスタ		
<b>団体の主な活動</b>		出演者を県内から広く募集し、県民出演のミュージカルを公演する		
<b>事業名</b>		劇団アルティスタ・大阪城南女子短期大学合同ミュージカル公演及び演劇ワークショップ		
<b>事業目的</b>		県民参加のミュージカルを県外の団体と共に公演する事により、会員の資質、文化、芸術の意識向上を目的とする。		
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	鳥取市民会館		
	<b>実施期間</b>	演劇ワークショップ 平成 16 年 11 月 13 日(土) 公演 平成 16 年 12 月 23 日(木)		
	<b>具体的な内容</b>	公演に先立ち、プロ役者(伽羅)を招いた演劇ワークショップ。大阪城南女子短期大学の創作ミュージカル「世界はひとつ」の公演。続いて劇団アルティスタが創作ミュージカル「雪の女王」を公演。		
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	鳥取県民	<b>参加数</b> 34 人(出演者スタッフ)
	<b>その他特筆すべき事項</b>	観客から「感動した。」「また見てみたい。」等好評が寄せられ、参加者が自信を持てる公演となった。(右:事業のポスター)		
<b>事業実施による効果</b>	様々な年代・職種の人が集まり、ひとつの舞台を作り上げることで、人とのふれあいや協力することの大切さを学んだ。 県外の団体と公演しあうことで、互いの学ぶべき所、良い所を発見し、刺激を受けることができた。			
<b>収支決算</b>				
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>		
<b>総事業費</b>	1 0 5 9 , 4 3 7	報償費、旅費、需用費(資材、広報、消耗品等) 役務費、使用料及び賃借料		
<b>事業実施に係る収入</b>	8 6 7 , 5 0 0	ミュージカル参加費 10,000 円 × 30 人 = 300,000 チケット代 大人 1,000 円 × 479 人 = 497,000 子ども 500 円 × 177 人 = 88,500		
<b>助成額</b>	1 0 0 , 0 0 0	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3 分の 2		


## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		ゆうゆうとっとり子育てネットワーク			
<b>団体の主な活動</b>		子育てサークルの支援、交流促進(交流会、会報発行、会議出席)			
<b>事業名</b>		ゆうゆう遊園地ミニ2004			
<b>事業目的</b>		サークル間・個人の情報交換や出会いの場を提供すること。楽しい思い出の一時を提供すること。			
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	わらべ館 いべんとほーる			
	<b>実施期間</b>	平成16年10月28日(木)			
	<b>具体的な内容</b>	観劇(絵本「こんとあき」の二人芝居)、トランポリン、シール遊び、クロストネル、ビニールプール、すべり台、ソフト積木、			
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	会員(未就園児と保護者)	<b>参加数</b>	268人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	申し込み人数が予想をはるかに超えたため、急きょ参加者を2組に分け、同じ内容を2度行った。大人数であったが、約束事を守り、きまりよく遊べた。参加者からは「もっと時間と遊具がほしい」「年に何回もしてほしい」等の意見があった。			 <p style="text-align: center;">(上:事業の様子)</p>
<b>事業実施による効果</b>	育児ストレスの発散、サークル活動の更なる充実、仲間意識の向上、楽しかった思い出を明日への活力にしてもらうこと。				
<b>収支決算</b>					
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>			
<b>総事業費</b>	18,465	旅費、需用費(資材、広報、消耗品等)、役務費、使用料及び賃借料			
<b>助成額</b>	12,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2			

## 市民活動促進事業実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		社団法人ハーモニカレッジ			
<b>団体の主な活動</b>		ポニークラブやポニーキャンプ			
<b>事業名</b>		子育てシンポジウム			
<b>事業目的</b>		変化の時代を迎え、子育て観は混迷している。子どもにとって本来の学びとは、成長とは何かを語り合う。			
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	県民文化会館 第4会議室			
	<b>実施期間</b>	平成16年12月5日(日)			
	<b>具体的な内容</b>	パネルディスカッション			
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	鳥取県民	<b>参加数</b>	50人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	<p>「自分を閉ざさないことが大切だと思った。」「自分がまずしっかりしなければならぬ。」「命の働きにかなった生活や社会にしていきたい。」「子どもも大人もいきいきと輝く未来を築いていきたい。」等の反響があった。(右：事業の様子)</p>			
<b>事業実施による効果</b>	日ごろの悩みや意見を語り合い、子育ての指針を得る。子どもを取り巻く環境の改善が進む。				
<b>収支決算</b>					
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>			
<b>総事業費</b>	47,380	旅費、需用費(資材、広報、消耗品等)、使用料及び賃借料			
<b>助成額</b>	31,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2			

## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)		鳥取おやこ劇場				
<b>団体の主な活動</b>		親子で生の舞台を鑑賞することを始め、キャンプ、ワークショップなど様々な活動				
<b>事業名</b>		地域で出会う感動体験事業				
<b>事業目的</b>		年5回の舞台公演を中心にした当団体の活動を支える人を発掘し、小さな公演を実施することによって様々なことを学ぶことを目的とする。				
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	わらべ館いべんとほーる				
	<b>実施期間</b>	平成16年12月10日(金)15時開演				
	<b>具体的な内容</b>	北九州の人形劇団「のはな」によるみんなの人形劇「おおきくなあれ」「3びきのこぶたとちいさなおうち」の上演				
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	幼児と保護者		<b>参加数</b>	129人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	初めて人形劇を見たという2才、3才の親子づれが多く参加した。主催側のスタッフも幼児や小学生の若い保護者であった。ほのぼのとした人形劇は好評で、携わった人みんなが満足した。これによる達成感や充実感は大きく、来年も身近な場所で楽しい文化活動を自らの手で企画しようと話し合った。(右:事業のチラシ)				
<b>事業実施による効果</b>		公演当日までの段取りや広報活動、当日の受付などを20人以上で役割分担し進めた。初めての人もチケット、チラシの作成などに参加し、このような活動の楽しさを味わった。				
<b>収支決算</b>						
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>				
<b>総事業費</b>	185,375	報償費、旅費、需用費(資材、広報、消耗品等)、使用料及び賃借料				
<b>事業実施に係る収入</b>	103,200	チケット代	800円×129人=103,200			
<b>助成額</b>	54,000	(助成対象事業経費-事業実施に係る収入)×3分の2				



## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)	鳥取共生動物市民連絡協議会				
<b>団体の主な活動</b>	地域の動物に関する相談、啓発。行政によるペットに関する施策や動物にふれあう施設の運営の改善を推進。				
<b>事業名</b>	余剰動物の行く末				
<b>事業目的</b>	余剰動物を生む社会構造、余剰動物が社会の中でどう循環し消費されていくのか理解し、余剰動物を生まない努力を促す。				
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	アクティブとっとり会議室			
	<b>実施期間</b>	平成 16 年 12 月 4 日 (土)			
	<b>具体的な内容</b>	北九州の動物管理センターや倉吉保険所の現場の取組みについての話から、センターと保険所の活動の対比を会場に喚起。また、民間団体の活動実態や法整備との関わりについて講演。			
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	鳥取県民	<b>参加数</b>	22 人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	<p>鳥取のような地方都市では質の高いシンポジウムや講演会が少ない。一方、インターネットの情報を拾い上げるにも知識や経験が必要である。遺棄動物を拾い買主を捜す個人レベルの活動は全国であるが、未熟なレベルに留まっている。一つひとつの活動が全体のどこに位置するのか理解することで、人と動物の健全な関係や社会的コンセンサスを確立したい。(右：事業のチラシ)</p>			
<b>事業実施による効果</b>	飼育動物の不妊手術の普及。動物園等施設における繁殖防止				
<b>収支決算</b>					
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>			
<b>総事業費</b>	137,248	報償費、旅費、需用費(資材、広報、消耗品等) その他			
<b>助成額</b>	91,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2			



## 実績報告書

<b>事業者</b> (団体名)	少年問題を考える鳥取の会			
<b>団体の主な活動</b>	子ども達をめぐる諸問題、青少年健全育成について考える			
<b>事業名</b>	本当の顔で生きようや			
<b>事業目的</b>	少年問題の増加、低年齢化、家庭、学校、地域であらゆる角度から見直すべき点が多くあると考えられる。不登校、いじめ、ひきこもり等、子ども本来のエネルギーがゆがんだ形となり、心の闇になっている現状を参加者全員で学習することを目的とする。			
<b>事業内容</b>	<b>実施場所</b>	さざんか会館		
	<b>実施期間</b>	平成 17 年 3 月 27 日(日)		
	<b>具体的な内容</b>	<p>小学校教諭で、またダンシングチーム「今村組」顧問として多くの子ども達に接している今村氏の講演会。大人が子どもに本気で向き合うことの大切さ、親が子どもを守り愛することへ自負と責任を持つことや、さまざまなしがらみの中で子を守る本能が衰えていることを訴えた。</p> <p style="text-align: center;">(右：事業のポスター)</p>		
	<b>対象者等</b>	<b>対象者</b>	一般市民	<b>参加数</b> 109人
	<b>その他特筆すべき事項</b>	子どもの心に寄り添い、一人ひとりを大切にした学級運営や、「今村組」の団員の子ども達にも心から慕われている様子が語られる中では、親として、また大人として、ヒントになることがたくさんあった。		
<b>事業実施による効果</b>	実践に基づいた話を聞くことより、学習・研修など、今後当会の具体的な取り組みにつなげたい。また、市民に呼びかけ社会全体で考える取り組みにしていきたい。			
<b>収支決算</b>				
<b>費目</b>	<b>金額(円)</b>	<b>内訳</b>		
<b>総事業費</b>	204,533	報償費、旅費、需用費(資材、広報、消耗品等)		
<b>助成額</b>	100,000	(助成対象事業経費 - 事業実施に係る収入) × 3分の2		